

インフルエンザウイルス感染者が増えています！

感染管理認定看護師 高山 公利

山形県 インフルエンザ警報レベル

第46週（11月10日から11月16日）におけるインフルエンザの県定点当たり報告数は47.05で、警報レベルとなりました。

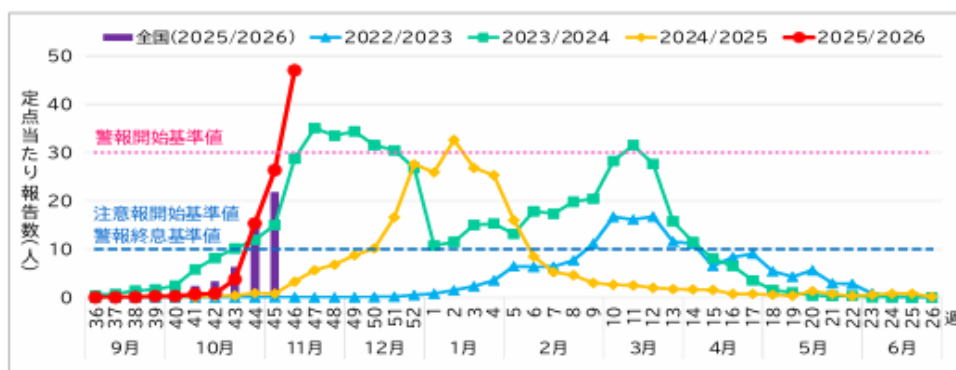


図 インフルエンザ定点当たり報告数（全国及び山形県過去3シーズンとの比較）

山形県衛生研究所 感染症情報センター 山形県感染症発生動向調査 週報より

<https://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/pdfshuho/2025/202546.pdf>

ウイルスにとって寒く、空気が乾燥する冬は最適な環境となります。また、寒くなり体温が下がると、人間の代謝機能が低下し免疫力も低下します。乾燥から体の水分量が減り、鼻やのどの粘膜が乾燥しウイルス感染を起こしやすくなります。そのため、冬はインフルエンザだけでなく多くの感染症が流行しやすくなります。

基本的な感染対策の実施



手洗い
消毒



せきエチケット

基本的な感染対策の実施とともに、寒さ対策をおこない免疫力を高めることで感染症を予防し健康的に冬をすごしましょう。